

# 令和7年度 第2回新潟市歴史博物館運営協議会

日時：令和7年11月20日（木）午前10時00分～  
会場：新潟市歴史博物館 本館2階セミナー室

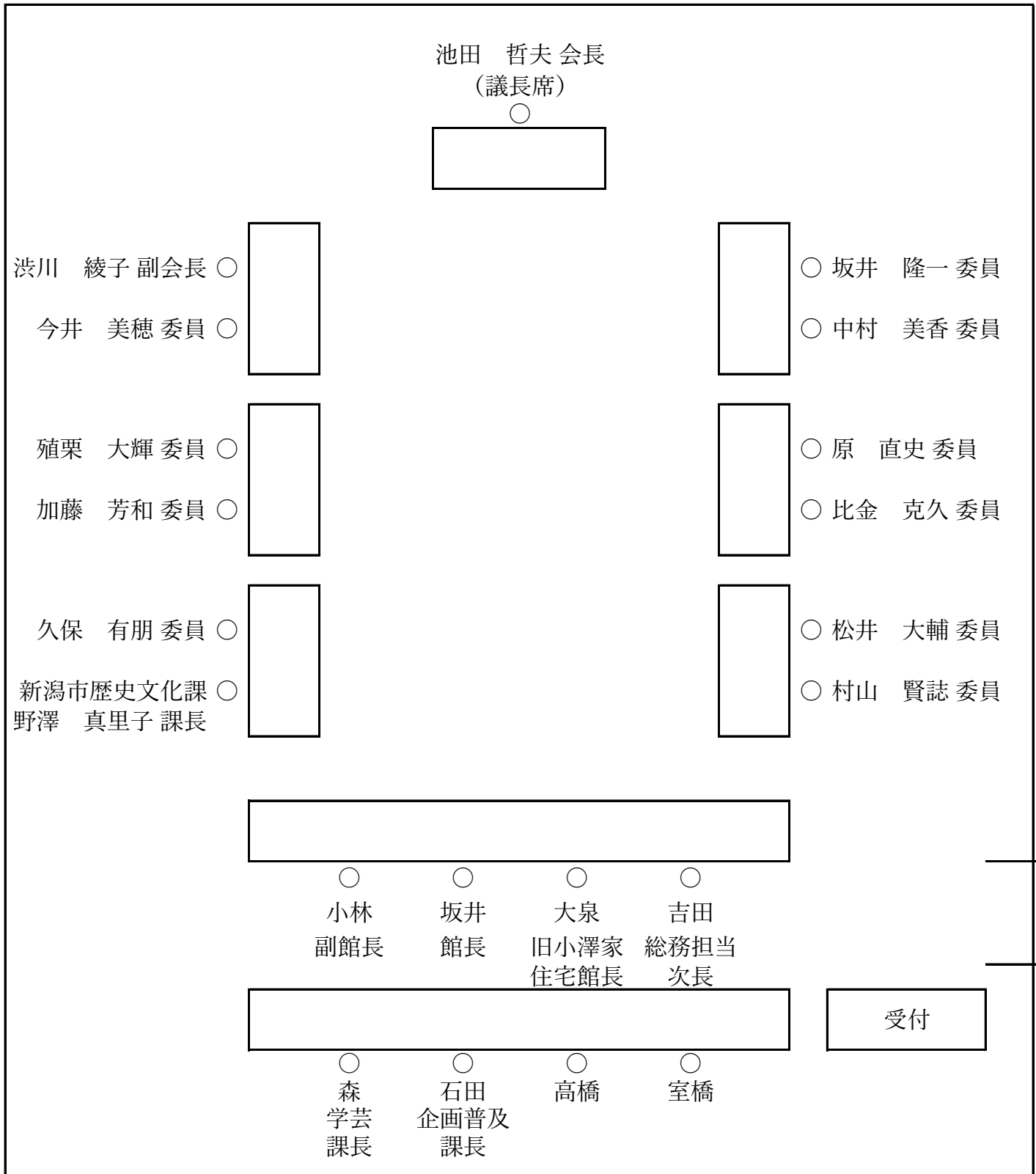
## 次 第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 令和7年度事業中間報告
    - ① 9～10月の博物館本館及び旧税関庁舎臨時休館について
    - ② 歴史博物館
    - ③ 旧小澤家住宅
  - (2) 歴史博物館 バックヤードツアー
  - (3) その他
- 4 閉会

※閉会后、お時間の許す方は開催中の「第22回むかしのくらし展」を担当学芸員によりご案内いたします。

令和7年度第2回 新潟市歴史博物館運営協議会  
席 次

日時： 令和7年11月20日(木) 午前10時～  
会場： 新潟市歴史博物館 本館2階セミナー室



新潟市歴史博物館運営協議会  
(R7～R8年度) 委員名簿

(令和7年11月1日現在)

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	新潟大学人文学部名誉教授 (民俗)
2	石黒 裕則	新潟市立木崎中学校長
3	今井 美穂	新潟日報社 読者局 ふれあい事業部 事業担当部長
4	殖栗 大輝	公募委員
5	小野 朋子	B S N新潟放送 ビジネスプロデュース局 エリアプロデュース部担当部長代理
6	加藤 芳和	日本旅行業協会 関東支部 新潟県支部 株式会社メディアシップ・ブランド 旅行センター部長
7	久保 有朋	古町花街の会
8	坂井 隆一	新潟市立牡丹山小学校長
9	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
10	中村 美香	(有)ミカユニバーサルデザインオフィス
11	原 直史	新潟大学人文学部教授 (日本史)
12	比金 克久	新潟市小中学校 P T A 連合会副会長
13	松井 大輔	新潟大学工学部准教授 (都市計画)
14	村山 賢誌	公募委員

(50音順)

オブザーバー	野澤 真里子	新潟市歴史文化課 課長
--------	--------	-------------

新潟市歴史博物館運営協議会  
事務局 名簿

(令和7年11月1日現在)

役職		氏名
新潟市歴史博物館		
	館長	坂井 秀弥
	副館長	小林 隆幸
	総務担当次長	吉田 英津子
	企画普及課長	石田 孝子
	学芸課長	森 行人
	職員	室橋 亜衣
新潟市文化財 旧小澤家住宅		
	館長	大泉 敏一
	職員	高橋 久美

## 新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

### (設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

### (委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

### (定数)

第3条 定員は15名以内とする。

### (任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年3か月とし、令和7年4月1日から令和9年6月30日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員を再任する場合は通算の在任は原則6年を超えないものとする。

### (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

### (会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

### (その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

### 附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要項は平成31年4月1日から施行する。

この要綱は令和3年4月1日から施行する。

この要綱は令和5年4月1日から施行する。

この要綱は令和7年8月1日から施行する。

令和7年度 新潟市歴史博物館事業実施状況 中間報告

《基本理念》 「公の施設目標管理型評価書」より

資料収集・保存は調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし、展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして、市民とともに地域認識を深め、市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会を発信する。また、市民や利用者が、地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め、博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。

《運営方針》 「公の施設目標管理型評価書」に記載の「管理運営方針」より

- ① 新潟市域の歴史的特性を明らかにする。
- ② 市民の歴史に対する理解を深める。
- ③ 歴史を媒体とした市民交流を行う。
- ④ 市民の文化的・歴史的活動に寄与する。
- ⑤ 文化財を保存・活用する。

◆指定管理事業

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団が指定管理者として、下記事業を実施している。

1 展示運営更新事業

事業名	事業概要
展示運営更新	新潟市の歴史を「水」をテーマに紹介。10月31日現在の観覧者数19,728人。また、部分展示替えとして「明治の錦絵新聞と新潟のスキャンダル」(6/17～8/31)を実施。企画展「新潟市と戊辰戦争展」にも関連した錦絵作品を展示し、併せての観覧を促した。また、エントランスホールで戦後80年を記念した関連展示(8/3～9/3)を実施した。

成果・来館者の動向・課題

- ・老朽化に伴う故障中の映像機器、音声ガイドの更新、シアターにおける外国人・聴覚障害者向けの配慮は、継続して課題。
- ・休日に活動しているボランティアガイドが好評で、より深く新潟の歴史を知りたいという需要層に応えることができていると考えられる。
- ・9/7には愛子内親王殿下が来館されて展示を案内した。報道で取り上げられ注目を浴びたが、落雷による安全設備故障で臨時開館(9/12～10/10)したため、期待した観覧者数の増加にはつながらなかった。

## 2 企画展示事業

※R7.10月時点※

事業名	開催期間	観覧料	事業概要
①にいがたてしごと・ものづくり展	4月12日～6月8日	一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 200円	観覧者数は3,240人。ものづくりとそこから生み出された製品が地域の歴史・文化に根差したものであることを改めて確認し、本展を通じてものづくりから地域の歴史・文化を見ることを来館者と共有できた。文字情報量を抑えつつ見やすい展示を工夫することで地域産業や生活文化を可視化し、協力者とのSNSの連携を通じて通常と違う観覧層にも観覧いただいた。
②新潟市と戊辰戦争展	7月12日～8月31日	一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 無料	観覧者数は5,813人。武士ではなく、新潟市域の住民の視点から戊辰戦争を紹介した。戊辰戦争についての関心は高く、近年の企画展の中でも多くの方にご来館いただいた。アンケートをみると、長岡市ではなく新潟市側の戦いを取り上げたことが新鮮だった、合併地域を含めて広く地元所在の史料を集めたことが評価されたようである。伊東前館長の記念講演会も募集定員の約二倍の応募があり、県外からの受講者もいるなど、関心の高さをうかがわせた。SNSでの発信も図録販売促進につながるなど反響があった。
③第22回むかしのくらし展「くらしのなかのあたりまえ」	9月13日～11月24日	無料	むかしのくらし展の主なターゲット層である小学校中学年の児童が、日々の暮らしの中であたりまえのこととして受け止めているさまざまな事柄を、暮らしの移り変わり、という視点から、「あたりまえ」をキーワードにわかりやすく紹介します。(雷雨による館内設備障害で約1か月休館したため10/11に開幕した)
④収蔵品展・新収蔵品展	2月8日～3月30日	無料	テーマを設けて館が収蔵する資料を紹介する収蔵品展と、令和7年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

## 成果・来館者の動向・課題

「戦場の町と村 新潟市と戊辰戦争」展は指定管理事業の有料企画展で、入場者数が5000人を超えた。この要因として、新潟市域の戊辰戦争に関わる史料が新たに見出され、市域の戊辰戦争史が新資料群を核として展示されたことが多くの人々の関心と好評を得たものと分析している。入場者数で前年度の日本遺産を活用した北前船展を上回ったことは、地域資料の継続的な収集と地道な調査研究、その成果と新たに見出された資料そのものを活用した展示公開という、博物館の基盤をなす活動の積み重ねが結実したものといえる。資料の収集と調査研究を通じて地域の歴史像を提案・共有するという博物館活動の基盤を充実させ、市民の関心を高め、ひいては地域の文化的活動の充実と文化資源の価値向上に寄与することを、改めて企画展事業の基軸として捉え直す機会となった。

## 3 教育普及事業

事業名	実施概要
①体験の広場	体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを実施。茶の間の押入スペースを使った展示も博物館実習生とともに展示制作を進めている。

②博・学連携	小学生の見学や中学生の総合学習等に対する館内での対応のほか、ゲストティーチング等、学校へ出向いての授業にも参加。また、新潟大学へは寄付講義を実施しているほか、新潟産業大学への講師派遣も実施している。今年度も、教師向けに博物館を学習資源として理解を深めてもらうことをねらいに「先生のための『みなとぴあオープンデー』」(8/19・20)を開催した。そのほか、ボランティアと共に、学校授業への対応を高めるべく実演を入れた研修を実施予定。なお、昨年度から始めた園児向けの「はじめてみなとぴあ」プロジェクトも継続実施している。 なお、公立中学校の部活動を「地域移行」することが進められており、文化部活動に際し新潟柳都中学と当館との連携を模索している最中である。
③博物館実習	博物館実習のうち、新潟大学生を対象として、4月から11月までの毎月第四土日に実施する通年編(新潟大学3名)の全12日間の内10日間を実施、収集した資料の整理作業や保存環境管理、体験プログラムのサポート、マネジメントなどを講義と実技で指導中。夏休みに10日間連続して実施する集中編(山形県立米沢女子短期大学・盛岡大学・法政大学・駒澤大学2名の計5名)も全10日間を実施。資料整理や保存環境管理、展示作業、マネジメントなどを講義と実技で指導。
④講座	調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する各種講座のうち、博物館講座(年10回)、歴史講座「浜・潟・山シリーズ 山の歴史講座」をすでに実施中。館長講座を準備中。また、歴史発見プロジェクトとして特別講演会を準備中。
⑤ボランティア	今年度の登録者一般142名、高校生25名。当館の活動に関心を持ち、深く理解を示す市民が、自己実現と社会貢献をめざして館の活動に参加。敷地ガイド・常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助を中心に、館の活動を支援。8/11には高校生ボランティアが企画した「みなとぴあたいけんのひろばなつまつり」を開催。また、11/1にはボランティア主催の「みなとぴあ秋まつり」を実施する。

#### 成果・参加者の動向・課題等

- ・園児向けの「はじめてみなとぴあプロジェクト」は3年目となり、入船保育園・赤沢保育園・新潟青陵こども園・新潟葵こども園などの参加園からも理解を得られている。
- ・2年目となる「先生のための『みなとぴあオープンデー』」も好評を得た。
- ・ボランティア活動は特に高校生の活動が目立ち、館をPRする動画なども制作した。

#### 4 施設普及事業

事業名	実施概要
①広報	「にいがた てしごと・ものづくり展」では地元新聞社、「新潟市と戊辰戦争展」では新聞社のほか地元テレビ局と共催し、広報の強化を図った。また、県外地方紙へ観光客誘発のための有料広告を掲載した。 そのほか無料の広報媒体としてツイッターやインスタグラム等を利用し、日々情報発信に努めている。
②地域連携	地元市民団体と共催し、8/23に「夕涼みコンサート」、8/24に「みなと・しもまち・川まつり」を開催した。4/6に予定していた「堀と桜のコンサート」は悪天候のため中止となった。

<p>③みなとぴあファンクラブ</p>	<p>会員数93名(10月末時点)。年間クラブ費600円(10月1日～翌年9月30日)。常設展及び企画展の観覧料を団体料金(2割引)で観覧することができる。博物館の情報を定期的に会員向けに提供するほか、会員を対象とした企画展開設や講座等を開催するほか、6/1には館長バスツアー「新潟県随一の高田城と城下町を訪ねて」、10/13には「まちあるき「地形図とともに歩く関屋の今昔」などのイベントを実施した。</p>
---------------------	--

<p><b>成果・参加者の動向・課題 等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等での発信は委員からもアドバイスをいただいております、さらに効果的なSNSの活用が課題。</li> <li>・ファンクラブ会員は減少傾向にある。ファンクラブに期待することなども含め、今後のファンクラブと館のあり方などを再整理する必要がある。</li> </ul>
---

5 調査研究事業

事業名	実施概要
<p>調査・研究</p>	<p>新潟市の歴史を明らかにし、将来にわたって市民の知的財産になるための調査研究を実施。今年度はその成果の一部を研究紀要第22号にまとめるほか、各企画展および各学芸員の講座等で発表する。</p>

<p><b>成果・課題 等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年「研究紀要」を発行し販売してきたが、一般への販売普及は少ない。印刷物からデジタルでの提供など検討する必要性が生じている。</li> </ul>
---

6 資料収集・整理・保存・活用

事業名	実施概要
<p>資料収集・整理・保存</p>	<p>市の歴史に関する資料を収集し、市民共有の財産として整理・保存・活用する事業を実施。今年度は現在までの段階で、32名の方から資料寄贈を受け入れ、整理を進めている。 また、資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示設備をはじめ、展示具を収める展示準備室、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校について、清掃や各種の保存環境調査、防虫対策のためのくん蒸など、IPM(総合的有害生物管理。環境に配慮し、必要以上に薬剤を使用せず、こまめな清掃や有害生物が館内に入りにくいような物理的環境を整える管理手法のこと。)に則った保存環境管理を行った。</p>

<p><b>成果・課題 等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を収蔵する本館収蔵庫及び旧税関・石庫・旧木場小学校のいずれにおいてもほぼ収蔵容積が満杯の状況となっていることから、新規資料の受け入れに大きな制約が生じている。昨年度策定した基本方針を実現するためには、資料収集・保存・活用の事業分野での充実したコレクションの構築が活動の基盤になる。収集保存活動に対する物理的・時間的な制約はあるものの、戊辰展という成果に続く資料収集・保存・活用の充実化を図っていく必要がある。</li> </ul>
---

## 7 管理運営

事業名	実施概要
管理運営	市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスに努め、歴史博物館・旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

## 成果・課題等

・老朽化の影響で各所に不具合が生じている。旧税関前の堀は依然、漏水によって水を張れない状態が続き、9月から深刻化した本館の漏水は館の運営にも支障をきたしている。  
 ・展示機器の不具合も発生しており、タッチパネルディスプレイなど機器のサービス中止により更新不能になる機器も生じつつある。また、照明のLED化等は喫緊の課題。

## ◆付帯事業

事業名	実施概要
物販	図録や歴史関連の書籍・グッズなどを販売。
自動販売機の設置	

## 成果・課題等

観光客向けのオリジナルグッズの開発が課題。

## 8 水がつなぐ各地域の歴史・文化の魅力発信事業（広域合併20周年企画）

事業名	実施概要
①ミュージアムシアターソフト制作	広域合併20周年を機に、合併市町村に通じる新潟市の歴史像を市内外に発信するため、川湊で発展した在郷町や潟に関する映像を本年度から2ヶ年継続で制作する。令和9年春、公開予定。
②水が結ぶ各区の魅力発見まちあるきモニターツアー	①と関連する事業で、地域で活躍するガイド団体と連携し、川湊として発展した各区の旧在郷町のうち10ヶ所を全5回で巡るまちあるきを実施する。10月末までに3回、6カ所のまちあるきを実施。各回定員20人。
③各区で活動するまちあるきガイドシンポジウム	各区で活躍するまちあるきガイドを一堂に会したシンポジウムを開催し、各区の魅力を再発見し、まち歩きの意味を理解する。3月開催予定。

## 成果・課題等

・市内各区の歴史文化資源の掘り起こしと活用を、映像制作やまちあるきガイド団体等との連携したイベント等を行うことを目的に事業化。  
 ・まちあるきツアーは地元旅行社とも連携し、旅行商品として独立する可能性を図ろうとしたが難しく、館単独の事業となった。

## ◆歴史発見プロジェクト（自主事業）

## 1 企画展示事業

事業名	開催期間	観覧料	事業概要
①大新潟映画展覧会	12月6日～1月25日	常設展観覧券の購入で観覧可	戦後から昭和30年代前半にかけて娯楽の王様だった映画。最盛期の人気映画ベストテンと世相、市街の映画館の盛衰、新潟ゆかりの映画人のほか、70年以上前の貴重な新潟ロケ映画などから、映画が新潟の人々を魅了した時代を振り返る。

## 2 教育普及事業

事業名	実施概要
①古文書上達講座	古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。 毎月第3水曜日に実施 受講料5,000円 全10回 受講者50人。
②みなとぴあこども歴史クラブ	小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。毎月第2日曜日に実施 全9回 参加クラブ員27人
③大人の体験プログラム	大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを実施予定
④特別講演会	地域の歴史にとらわれず、幅広いテーマの中から選ぶ歴史講演会を実施している。今年度は古代宮都・都城の研究者を招聘して講演会を開催する。11月24日予定
⑤古町学	旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学。昭和時代を中心に活況を呈した映画文化をテーマに、映画館跡地のまちあるき(6/28)や講座「古町で映画を語る」(7/19)、子ども向けの上映体験(8/16・17)を実施し、11/2には名作の上映会を実施する予定。
⑥外部講師・講座	民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会などへ学芸員を講師として派遣している。

## 成果・参加者の動向・課題等

・歴史発見プロジェクトは、5年を期間とする財団の「特定費用準備資金制度」で実施。今年度が最終年度となるため本事業を継続するには申請が必要になる。

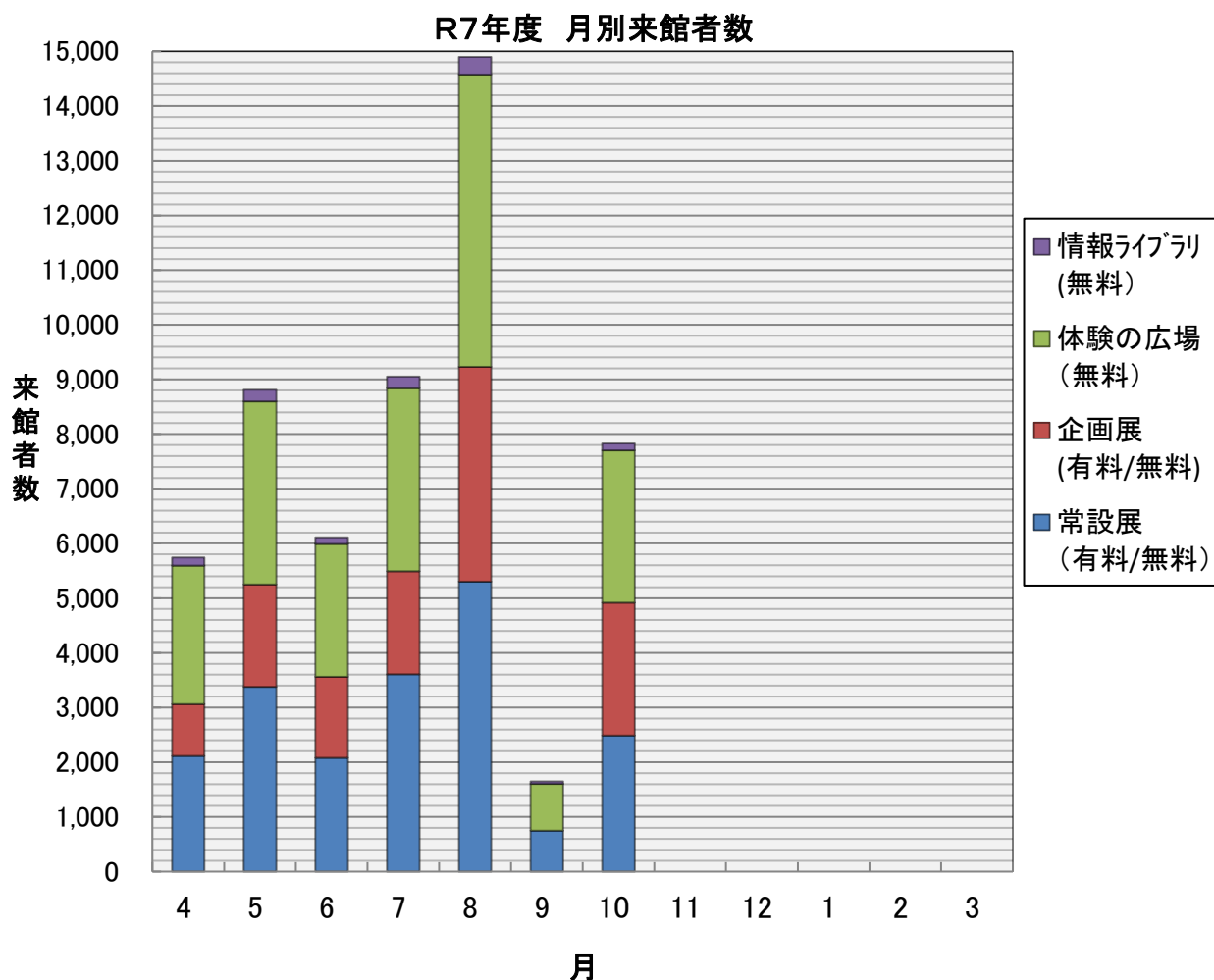
## 令和7年度 歴史博物館 来館者内訳

令和7年度目標観覧者数 93,000

○月別来館者数(10月末現在)

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R7月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	27	2,118	944	2,533	147	5,742	213
5	27	3,379	1,873	3,346	214	8,812	326
6	19	2,078	1,486	2,429	119	6,112	322
7	27	3,608	1,886	3,348	209	9,051	335
8	28	5,305	3,927	5,343	325	14,900	532
9	26	750	0	852	46	1,648	63
10	27	2,490	2,430	2,783	127	7,830	290
11	26					0	0
12	23					0	0
1	19					0	0
2	16					0	0
3	25					0	0
計	290	19,728	12,546	20,634	1,187	54,095	

\* 企画展は貸室「現代工芸新潟会」の1,063人を含む



【資料2】

＜参考＞令和6年度 歴史博物館 来館者内訳

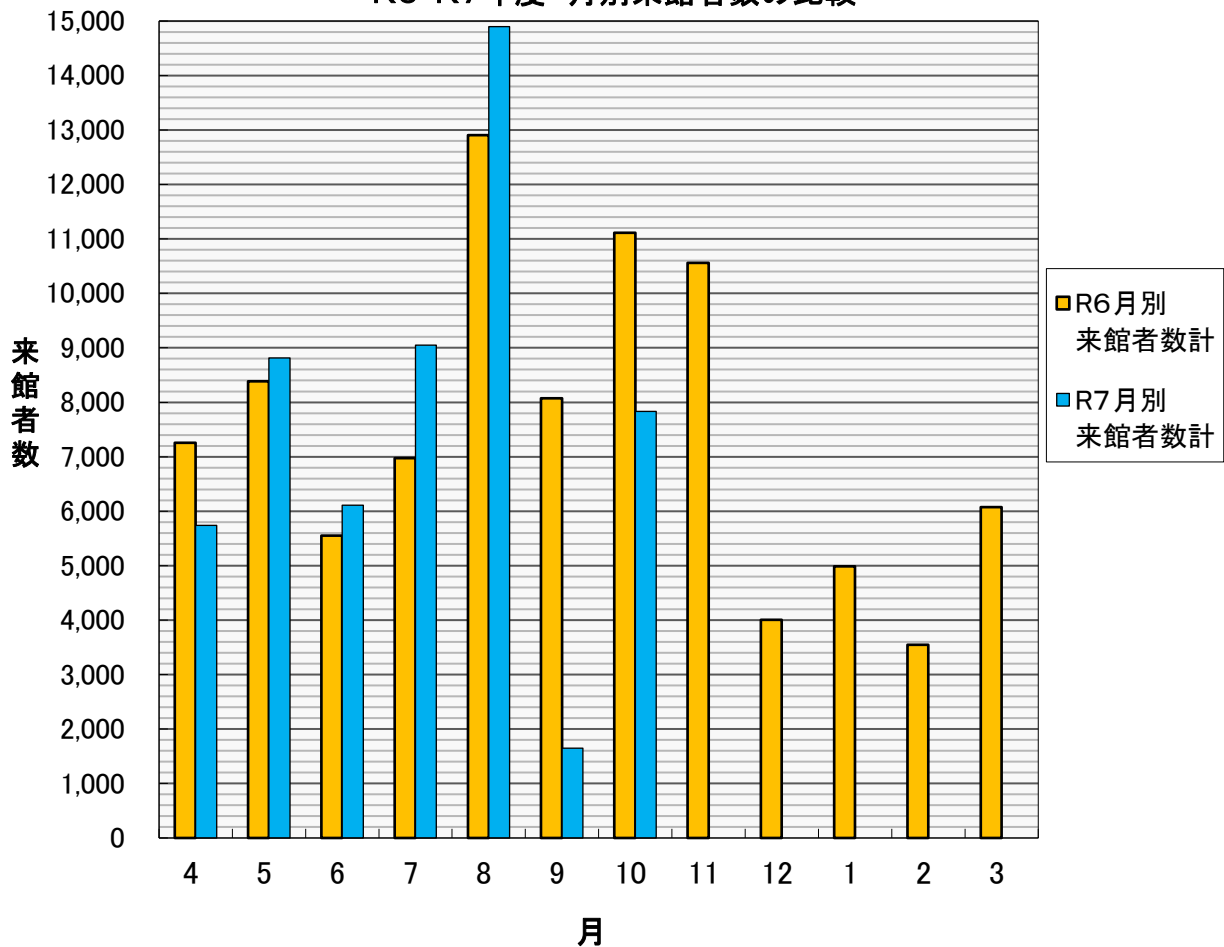
令和6年度目標観覧者数 85,000

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R6月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,617	1,625	2,855	159	7,256	279
5	27	3,009	2,493	2,681	205	8,388	311
6	20	2,136	1,037	2,256	121	5,550	278
7	26	2,478	1,103	3,216	180	6,977	268
8	28	4,516	3,379	4,836	176	12,907	461
9	25	2,942	1,762	3,186	184	8,074	323
10	27	3,695	3,186	4,039	190	11,110	411
11	25	3,622	3,237	3,515	188	10,562	422
12	23	1,286	1,002	1,596	122	4,006	174
1	20	1,084	2,057	1,746	103	4,990	250
2	17	1,291	665	1,513	78	3,547	209
3	25	2,376	1,206	2,377	116	6,075	243
計	289	31,052	22,752	33,816	1,822	89,442	

\* 企画展は貸室「現代工芸新潟会」の911人を含む

R6・R7年度 月別来館者数の比較

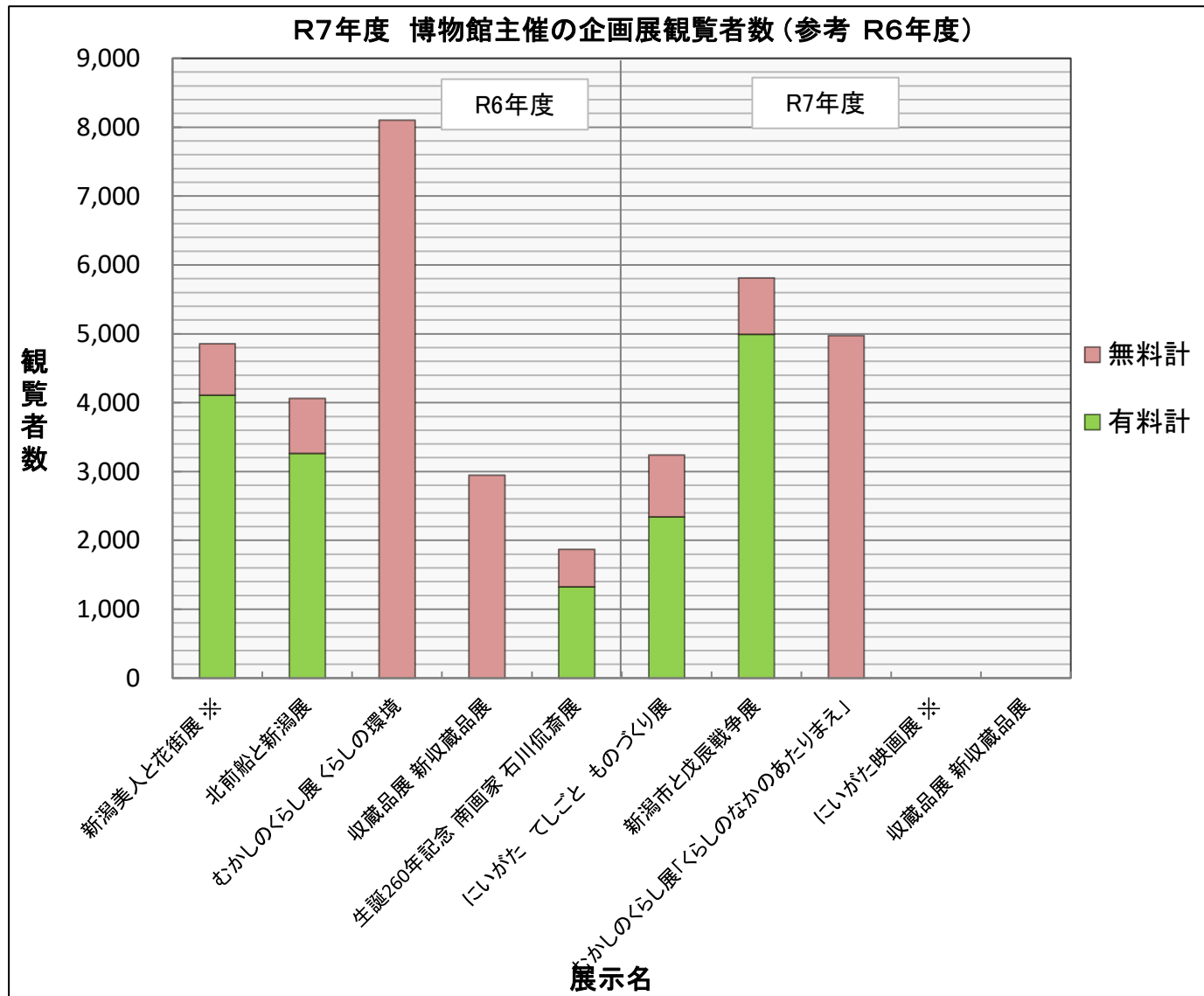


R7年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R6年度）

2025.11.18時点

	企画展名	会期	開館日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
6 年 度	新潟美人と花街展 ※	4.13～6.9	51	4,858	4,111	4,099	12	747	58	78	95
	北前船と新潟展	7.27～9.1	33	4,063	3,265	2,180	1,085	798	8	281	123
	むかしのくらし展 ぐらしの環境	9.14～12.1	67	8,102	0	0	0	8,102	1,760	221	121
	収蔵品展 新収蔵品展	12.14～1.26	32	2,947	0	0	0	2,947	0	0	92
	生誕260年記念 南画家石川侃齋展	2.8～3.30	42	1,871	1,327	966	361	544	60	51	45
7 年 度	にいがた てしごとものづくり展	4.12～6.8	51	3,240	2,340	1,566	774	900	61	99	64
	新潟市と戊辰戦争展	7.12～8.31	45	5,813	4,993	3,329	1,664	820	13	285	129
	むかしのくらし展「ぐらしのなかのあたりまえ」	9.13～11.24	64	4,975	0	0	0	4,975	0	44	78
	にいがた映画展 ※	12.6～1.25	38	0	0						0
	収蔵品展 新収蔵品展	2.14～3.22	32	0	0						0

※は自主事業



## 令和7年度 新潟市文化財 旧小澤家住宅 事業実施状況 中間報告

「公の施設目標管理型評価書」より

「新潟市文化財旧小澤家住宅条例」に基づき、「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するための各種事業を行う。

施設の運営にあたっては、「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する基本協定」「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する年度協定」に従い、かつ各関連法規を遵守し、施設運営を通じて、新潟市の歴史文化施策の実現に努める。

「公の施設目標管理型評価書」に記載の「管理運営方針」より

- ① みなとまち新潟の歴史並びに生活文化を紹介する。
- ② 市民の歴史・文化に対する理解、親しみ、郷土への愛着を深める。
- ③ 歴史・文化を媒体とした市民交流を行う。
- ④ 文化財を保存・活用する。
- ⑤ 新潟市の伝統工芸品の魅力紹介と販売促進に寄与する。
- ⑥ 観光施設としての役割を担う。

## ◆指定管理事業

## 1 常設展示・企画事業

事業名	開催期間	事業概要
常設展示	通年	みなとまち新潟の歴史や生活文化、また小澤家や旧小澤家住宅について、グラフィックパネルやモニターを使い、紹介。
企画事業		新潟町の歴史に関連した企画展や、旧小澤家住宅の風合いに合った企画展等を開催。
①「新潟歴史玉手箱」展	4月12日～5月18日	観覧者数 1,447人。 市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介。また、石仏の実物を数点展示。
②「筒描」展	5月24日～7月6日	観覧者数 2,266人。 染物のひとつ筒描で作られた、布団側や油単等を展示し、当時の価値観に基づいたデザインや職人技が生み出す美を展示。
③桜井進一氏写真展「昭和の記憶～農村が消えた～」	7月12日～8月31日	観覧者数 1,623人 桜井進一氏の撮影した、宅地造成や工場建設等で大きく変貌した農村風景の写真を展示。
④「みんなの問題 海のゴミ」展	7月12日～7月27日	観覧者数 548人 一般社団法人JEAN所蔵の海のゴミ問題の啓発に関する写真パネルを展示。
⑤新潟郵趣会展「昭和100年に寄せて～時代と共に生きる切手の世界～」展	9月13日～10月5日	観覧者数 1,623人 今年が昭和100年に当たることから、それに因んだ様々な切手、手紙等を展示。

## 【資料3】

⑥「新潟仏壇工芸」展	10月11日～11月3日	観覧者数 1,606人 当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。
⑦「越後の文人 池田孤邨」展	11月15日～12月21日	「越後の文人 池田孤邨」の代表作「紅葉に流水・山景図屏風」の高精細デジタル複製画を展示。
⑧「羽子板」展	令和8年 1月4日～1月18日	小澤家に贈られた華やかな羽子板を展示。
⑨「ひな人形」展	令和8年 2月14日～3月22日	桃の節句に合わせ、小澤家や市内の家庭で飾られてきた雛人形を展示。

## 成果・参加者の動向・課題等

「筒描」展については、県内外から来館者が多く、地元新聞記事にも掲載され好評となった。これを機にマスメディアを活用した広報が有効と感じた。

## 2 教育普及事業

事業名	実施概要
①体験学習事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふろしき講座 7月14日 講師:大嶋美樹子氏</li> <li>○仏壇工芸体験 10～11月</li> <li>○クリスマスフラワーアレンジメント 12月</li> <li>○稲穂でつくる正月飾り 12月</li> <li>○フラワーアレンジメントワンディレクション 1月</li> <li>○稲わらでつくるひな人形 2月</li> </ul>
②講座・講習・講演会事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企画展の内容に沿った講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会「石造物から見た近世日本海交易」 4月20日 講師:関根達人氏</li> </ul> </li> <li>○古文書講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初心者のための古文書講座」 6月及び9月(各3回) 講師:本井晴信氏</li> </ul> </li> <li>○庭園講習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の講習会 6月21日(応募者なく中止)</li> </ul> </li> </ul>
③ボランティアガイド	登録者31名。養成研修後、審査に合格してガイドに登録。館内の案内活動を行う。5月18日に全体会と引き続き研修会を開催し、18人参加。

## 成果・参加者の動向・課題等

庭園講習会は市報にいがたで広報したが、応募者が無く、中止となった。今後は講習会の方法について検討したい。

## 3 施設普及事業

事業名	実施概要
施設普及事業	旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、チラシ等の作成配布や、SNSによる情報発信、マスコミを通じたPRを行う。 また季節に合わせた館内のしつらえや、イベントの開催を行い、来館の動機付けを行う。
①季節に合わせた設え	○山野草の展示 5月10日～18日 ○簀戸入れ替え 5月29日 ○かえるまつり 6月1日～15日 ○きのこまつり 10月(他行事と展示と展示スペースが重複したため中止)
②季節に合わせた飲食を伴うイベント	○藤見煎茶会 5月11日 ○夏至祭 6月15日 ○秋の大文化祭 11月23日 ○年忘れ煎茶会 12月
③企画展等に関連したイベント	○市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」 令和8年1月 ○箏と尺八の演奏会 令和8年2月21日

## 成果・参加者の動向・課題等

設えに関して、簀戸入れ替え(夏向きの建具への衣更え)についても新潟大学の大学生・院生に手伝ってもらい、速やかに行うことができた。職員が少なく人手が足りないため、今後もボランティアや外部の方々と良好な協力関係を維持していきたい。

## 4 調査研究事業

事業名	実施概要
調査・研究	市民が注目し関心のあるテーマの探求や当館の活動の発展のため、調査研究を行う。

## 成果・課題等

旧小澤家住宅周辺の町並みを考える会と協働して事業を行うことを進めることができた。

## 5 収蔵資料の保存管理事業

事業名	実施概要
資料の収集・整理・保存	旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料は、保存と目録の作成を行う。

## 成果・課題 等

史料の保存管理の他、将来的な建物の保存部材について確保することができた。

## 6 文化施設管理受託事業

事業名	実施概要
旧小澤家住宅管理事業	文化財としての施設を良好に管理するとともに、来館者サービスの向上に努める。

## 成果・課題 等

庭木の手入れが行き届いている、トイレがきれい、空調が適正など来館者に褒めていただくことがよくある。この状況を維持していきたい。

## ◆付帯事業

事業名	実施概要
物販	来館者に対するサービスの充実を目的に、当館でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったミュージアムショップの運営を行う。

## 成果・課題 等

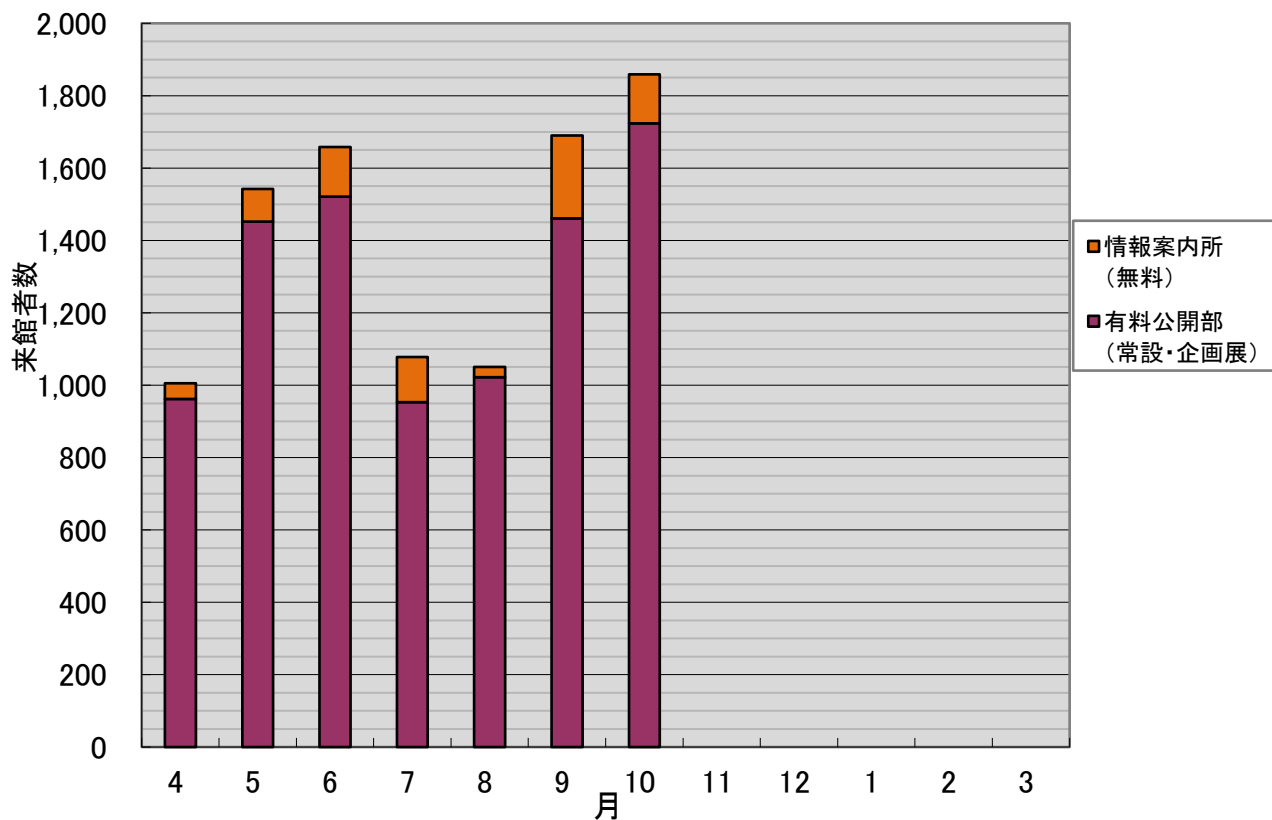
オリジナルのTシャツや手ぬぐい、また受託販売のふろしきや新潟ハイカラ文庫等が良く売れている他、周辺商店街と協力し各種イベントで入館者増に繋がっている。

## 令和7年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(10月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R7月別 来館者数計	R7日平均 来館者数	備考
4	27	962	43	1,005	37	
5	27	1,452	90	1,542	57	
6	25	1,521	137	1,658	66	
7	27	953	125	1,078	40	
8	28	1,022	28	1,050	38	
9	26	1,461	229	1,690	65	
10	27	1,724	135	1,859	69	
11	26			0	0	
12	23			0	0	
1	13			0	0	
2	16			0	0	
3	25			0	0	
計	290	9,095	787	9,882	34	

7年度月別来館者数



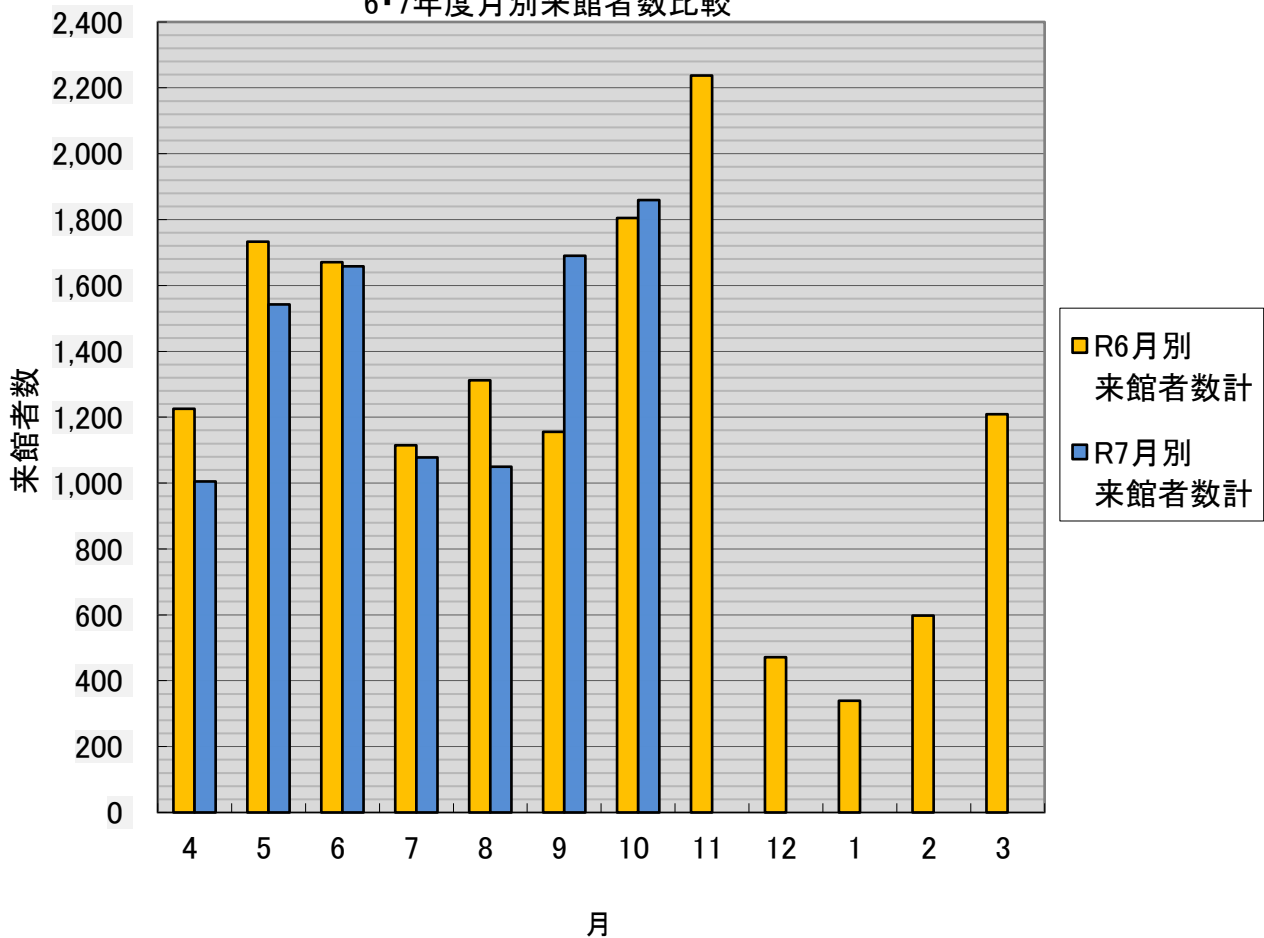
【資料4】

令和6年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R6月別 来館者数計	R6日平均 来館者数	備考
4	26	1,155	71	1,226	47	
5	27	1,601	132	1,733	64	
6	26	1,549	122	1,671	64	
7	26	1,045	70	1,115	43	
8	28	1,245	67	1,312	47	
9	25	1,090	66	1,156	46	
10	27	1,732	73	1,805	67	
11	25	2,163	74	2,237	89	
12	23	442	29	471	20	
1	14	331	8	339	24	
2	17	567	31	598	35	
3	25	1,169	40	1,209	48	
計	289	14,089	783	14,872	51	

6・7年度月別来館者数比較



## R7年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考6年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
6 年 度	「新潟歴史玉手箱」展	R6. 4. 13～5. 19	1,795	1,557	395	1,162	238	10	10	33	54
	「端午の節句飾り」展	R6. 4. 14～5. 10	1,255	1,092	298	794	163	10	9	24	52
	「民藝」展	R6. 5. 25～7. 7	2,234	1,856	739	1,117	378	83	26	38	59
	「みんなの問題・海のごみ」展	R6. 7. 13～7. 21	372	325	131	194	47		8	8	47
	「ふるさと新潟海岸」展	R6. 7. 13～9. 1	1,932	1,612	575	1,037	320		42	45	43
	「オリンピックイヤーによせて」展	R6. 9. 14～10. 6	1,029	826	258	568	203	13	6	20	51
	「新潟仏壇工芸」展	R6. 10. 12～11. 4	1,970	1,086	362	724	884	35	12	21	94
	「明治期東京土産写真」展	R6. 11. 16～12. 22	1,024	838	369	469	186		13	31	33
	「羽子板」展	R7. 1. 4～1. 19	331	257	98	159	74		5	14	24
	「ひな人形とからくり人形」展	R7. 2. 15～3. 23	1,442	1,214	543	671	228		20	31	47
7 年 度	「新潟歴史玉手箱」展	R7. 4. 12～5. 18	1,447	1,209	463	746	238	27	19	33	44
	「端午の節句飾り」展	R7. 4. 19～5. 16	1,150	960	342	618	190	27	17	25	46
	「筒描」展	R7. 5. 24～7. 6	2,266	1,828	826	1,002	438	79	35	38	60
	「昭和の記憶」展	R7. 7. 12～8. 31	1,623	1,286	564	722	337		44	45	36
	「みんなの問題・海のごみ」展	R7. 7. 12～7. 27	548	428	205	223	120		17	14	39
	「昭和100年によせて」展	R7. 9. 13～10. 5	1,629	1,173	600	573	456	156	23	21	78
	「新潟仏壇工芸」展	R7. 10. 11～11. 3	1,606	934	361	573	672	5	8	21	76
	「池田孤邨」展	R7. 11. 15～12. 21	0	0						32	0
	「羽子板」展	R8. 1. 4～1. 18	0	0						13	0
	「ひな人形」展	R8. 2. 14～3. 22	0	0						32	0

【資料4】

令和7年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考6年度）

